

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

＜試料・情報の利用目的及び利用方法＞

●研究の名称

当院における悪性神経膠腫終末期の療養の場の変遷について

●研究の対象

2010年1月1日から2024年12月31日に京都第二赤十字病院脳神経外科において、悪性神経膠腫として治療が開始された患者さんを対象とします。

●研究の目的

悪性神経膠腫は予後が不良な疾患ですが、その終末期においては一部の在宅医やホスピス・緩和ケア医の中には積極的な受け入れを行っていない状態が続いたこともあり、手術治療を行った急性期病院での看取りを行っていた割合が多い状況でした。近年になって在宅医やホスピス・緩和ケア医も積極的な受け入れを行っていただけるようになってきていることからこの状況に変化が見られます。今回、当院で診断を行った悪性神経膠腫の患者さんの終末期の療養の場の年次推移を検討することとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2025年12月31日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の＜利用する試料・情報の項目＞について調査します。

＜利用する試料・情報の項目＞

●試料：なし

●情報：年齢、性別、腫瘍存在部位、初診から死亡までの期間、死亡原因、死亡場所

利用する上記の情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報削除します。

＜利用を開始する予定日＞

研究機関の長の実施許可日

＜利用する者の範囲＞

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 脳神経外科 武内 勇人

≪試料・情報の管理について責任を有する者の名称≫

京都第二赤十字病院 院長

≪試料・情報の利用の停止（受付方法含む）≫

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の≪問い合わせ先≫にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

≪問い合わせ先≫

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：脳神経外科 武内 勇人

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）